

評価結果提出届（兼受理書）

（小規模多機能型居宅介護）

健康福祉局介護事業指導課 あて

（太枠内のみ記入してください。）

提出日：令和5年2月16日

届出者	サービス種別 （該当に○）	○	小規模多機能型居宅介護					○	介護予防小規模多機能型居宅介護				
	事業所番号	1	4	9	1	0	0	0	2	8	5		
	事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 こすずめの里											
	事業所所在地	（〒245 - 0063） 横浜市戸塚区原宿2-6-7											
	担当者名	管理者 大嶋 芽美											
	連絡先	電話	045（858）3322					FAX	045（858）3322				

次のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議開催日			令和5年1月31日（文書確認）
添付書類 （チェック欄にレ）	チェック欄	✓	事業所自己評価
		✓	サービス評価総括表
		✓	返信用封筒（84円切手を貼った返信先明記の長3封筒）

（以下は記入しないでください。）

評価結果提出届を受理しました。

受理日	5年2月20日	実施年度	4年度
次回実施期限	6年3月31日		

＜次回の外部評価実施後、運営推進介護を開催した日から1か月以内に提出をしてください。＞

＜この受理書は再発行しません。＞

【発行】 横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX 045-550-3615

受付担当者：

中野

横浜市収受印

5.2.20

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 リラ福祉サービス	代表者	代表取締役 馬場 世津
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 こすずめの里 (戸塚区)	管理者	大嶋 芽美

法人・事業所の特徴	住み慣れた地域での生活が継続できよう、柔軟な対応で一人ひとりの暮らしを支援しています。地域行事への参加や、ボランティアの訪問により獅子舞等のイベントを定期的に開催し地域住民との交流を図り、本人の暮らしを支援しています。(コロナ禍はイベント休止中) 法人は有限会社リラ福祉サービスの経営で、グループホーム、有料老人ホーム、デイサービス、サードサービス付き高齢者住宅、居宅介護支援、訪問介護、訪問看護、福祉用具等、多岐にわたり法人理念に基づいた施設運営を行っています。
-----------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	(文書確認) 2人	(文書確認) 3人	(文書確認) 1人	(文書確認) 1人	(文書確認) 1人	人	2人	(文書確認) 1人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	活発な意見交換ができるよう、話しやすい職場環境作りに努める。	各々が、日頃からコミュニケーションを積極的に取るよう心掛け、話しやすい雰囲気作りに努めたこと自然と会話が増えた。	「取組めていない」との回答もあったが、コロナ禍によるものと理解でき問題ない。 一人の意見ではなく、全体で考え取組んでいて良い。	コミュニケーションを日頃から深め、話しやすい職場環境を充実させる。
B. 事業所のしつらえ・環境	新型コロナウイルス感染防止対策を継続し、環境保全に努める。	定期的な換気・手指消毒・マスク着用が習慣化できている。 スタッフは、「1ヶア1手洗い」を徹底し、できる限りの感染防止対策に努めた。	嫌な臭いもなく、消毒・換気も毎日しているのが解る。 事業所に入りやすいが、コロナ禍で果たして良いのか？悪いのか？難しい。	新型コロナウイルス感染防止対策を継続しながら、心地良い空間作りに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナウイルス感染状況をみながら、地域住民との交流をサポートしていく。	コロナ禍でも、「燻製」「放課後デイサービスの子供達との交流会」を外で行い(短時間で実施)、地域と関わる機会がもてた。	コロナで制限がある状況でも、できる範囲で地域とのサポートや交流に努力していると思う。	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、地域住民との交流をサポートしていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	新型コロナウイルス感染状況を見ながら、地域イベントや防災訓練等に参加する。	コロナ禍の影響により、地域イベントや防災訓練等の参加は見送らざる得なかった。 コロナ状況見ながら地域イベントの参加を検討していきたい。	行事への参加は、今はどの施設もコロナ禍で難しいと思う。 感染対策を取りながら、利用者の参加は無理でも、職員の協力体制等の準備ができていて良い。	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、地域イベントへ参加する。

E. 運営推進会議を 活かせた取組み	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、対面での会議開催で活発な意見交換を図っていく。	コロナ感染状況の変動が著しく、対面会議は開催できず書面会議へ変更した。 次年度は、様子見ながら対面開催し連携を深めたいと思う。	コロナ禍で、事業所では開催できず、書面会議になるのは仕方がない。 対面で開催できなくても、書面での意見交換を行い問題ない。	新型コロナウイルスの状況をみながら、書面会議や対面会議を柔軟に行い、地域との連携を深める。
F. 事業所の 防災・災害対策	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、訓練予定月でない場合であっても柔軟に避難訓練を行う。	地域住民を交えた避難訓練はコロナ禍により行えなかったが、事業所内にて実施し、できる範囲での訓練を行った。 (利用者・職員参加型)	コロナの影響で地域交えた全体での訓練は行えていないが、災害時のマニユアルを職員全体で把握して良い。 地震時は、後に断水になることが多く貯水すると良い。	新型コロナウイルスの状況をみながら、いざという時に自然と体が動くよう防災訓練を柔軟に継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月5・6・9日(16:00~17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー(氏名) 常勤(大嶋、渡邊、千葉、今泉)4名
非常勤(斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地)14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	9人	人	1人	21人

前回の改善計画	初期時の支援は変更が多いが、細かいところまで情報共有しケアの統一を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規が多い時は、利用者を混同しないよう一覧表で管理した。訪問サービスの細かい内容について話し合い(エアコン温度等)、情報共有した上でケアに当たることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	16	4	1		21
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	13	7	1		21
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	12	7	1	1	21
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	12	2		21

できている点	・ケアに入る前に、送りや連絡ノートで各々メモを取り情報収集を行った。 ・慣れるまで、その人にあった必要な支援の提供に努めている。 (訪問回数を増やす・同じスタッフが訪問する・通い時間を早めて自宅へ送る等) ・利用者同士の会話が自然に弾むよう、間にさりげなく入り関係性作りに努めた。 ・宿泊する際は、夜勤者自らナースコール等の説明を丁寧に行い、不安を和らげるよう対応している。
--------	--

できていない点	・個別ケアにあたる人員確保が十分ではなく(コロナ禍)、通いサービス初日の配慮に欠けた。 ・声掛けのタイミングが悪く、入浴拒否や通いサービスに来れない等、今必要な支援が提供できるまでに時間がかかることがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	まず必要とされる支援がスムーズに提供できるよう、声掛けのタイミングを工夫する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月5・6・9日（16：00～17：30）
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー（氏名）	常勤（大嶋、渡邊、千葉、今泉）4名 非常勤（斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地）14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	12人	1人	人	21人

前回の改善計画	状況にあった声掛け方法を、実践を通し学ぶ。
前回の改善計画に対する取組み結果	一番風呂が習慣だった方に、「今、お風呂が沸きましたよ」と声を掛け、拒否なく入浴でき状況にあったタイミングを掴むことができた。 慣れると声掛けのタイミングは定まってくるが、初期時はタイミングを誤ることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	10	10		1	21
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	9	9	1	2	21
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	7	10	2	2	21
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	11	9		1	21

できている点	・本人の目標を理解して、行き過ぎた支援にならないよう取り組んだ。 ・訪問先での訴えは、細かく報告し情報共有に努めた。 ・訪問時に、その時の希望で掃除から買物代行へ変更し柔軟な対応で自己実現できた。 ・夜間の様子を申し送りで伝え、本人が気持ち良く過ごせるよう環境作りに取り組んだ。 ・宿泊サービス時の就寝時間を本人希望に合わせ、自宅と同じ様に過ごしてもらった。
--------	---

できていない点	・利用者の声にならない訴えをスタッフ各々が解っていても、それについて話すことが少ない。 ・本人と家族の希望に差が激しく、本人の希望ではないため不快な思いをさせてしまった。 ・病気により置かれている状況が正しく認識できず、熱中症のリスクが増しても通いサービスに来ることが難しかった。（原因は他にあって、通いの場での居心地が良くなかったのかもしれない…） ・勤務浅く、当面の目標までは理解していない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	介護拒否となる要因を探り、本人が心地良いと思う環境作りに努める。
---------------	----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月5・6・9日(16:00～17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー(氏名) 常勤(大嶋、渡邊、千葉、今泉)4名
非常勤(斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地)14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	17人	3人	1人	人	21人

前回の改善計画	
メモをとり、確認する習慣を身につける。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
メモを取ることを意識したことで、業務を振り返ることもでき習慣化に繋がった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	7	8	3	3	21
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	16	5			21
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	11	9		1	21
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	11	2		21
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	11	8	2		21

できている点	
・訪問時、異変が見られた際に急遽ショートステイへ変更し必要な支援ができた。 ・以前の暮らし方を、事前情報だけではなく会話の中から自然に知るよう努めた。 ・上手く伝えられない人の態度やしぐさから、何を訴えたいのか?汲み取り、情報共有を心掛けた。 ・その人にあった食事形態等で提供している(キザミ・トロミ・塩分制限等) ・本人ができる更衣等は見守り、必要部分の介助に努め自立支援を促している。	

できていない点	
・良い面の記録が比較的少なく、良い面の気づきが薄い。 ・勤務浅く、以前の暮らし方を把握できていない(今後、把握に努める)。 ・短時間勤務で、面識がない利用者もいて把握しきれていない。 ・“いつもの状態”の把握が不十分で、ちょっとした変化に気付きにくい。	

次回までの具体的な改善計画	
“いつもと違う”変化に早く気づけるよう、普段の様子を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月5・6・9日(16:00~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー(氏名) 常勤(大嶋、渡邊、千葉、今泉)4名
非常勤(斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地)14名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	8人	2人	21人

前回の改善計画	新型コロナウイルスの状況をみながらイベントを再開し、地域住民との交流を復活させる。
前回の改善計画に対する取り組み結果	地域の方による「燻製」・放課後等デイサービス児童による「敬老の日交流」を、短時間ではあるが外で行うことができた。 コロナ禍の限りある中で、感染対策に配慮しながら交流を持つことができた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	12	9			21
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	9	8		21
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	9	8	3	1	21
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	12	2	3	4	21

できている点	・ゴミ出しが困難な方に対し、地域資源の利用を提案し活用に繋がられた(ふれあいゴミ収集) ・後見人制度を活用し、近隣者が見守ってくれている方もいて地域と関わることができている。 ・家族との関係性が薄れないように、行き過ぎた支援にならないようケアにあたっている。 ・友人や家族へ手紙を出すのに、切手購入やポストへの投函等サポートした。 ・日常会話で、自宅での様子をさりげなく聞き情報収集している。
--------	--

できていない点	・コロナ禍以降、家族以外との関りを制限している傾向にあり、友人との関りを持つことが難しい。 ・以前のような定期的なボランティアとの交流が休止中で、地域住民との関りが持てない。 ・土地勘なく、地域資源をあまり知らない。 ・外出自体を自粛していて、家族や地域との繋がりが全体的に薄れている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	コロナ禍の状況を見ながら、地域と関わる機会を増やしていく。
---------------	-------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月5・6・9日(16:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー(氏名) 常勤(大嶋、渡邊、千葉、今泉)4名
非常勤(斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地)14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	18人	2人	1人	21人

前回の改善計画	コロナ禍の状況を見ながら、地域資源の活用を充実させていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	宅配弁当・ゴミ収集等、必要に応じて地域資源を活用できるよう支援できた。コロナ禍でも、病院等と連携し、入退院調整の必要な支援を行った。 コロナ禍の状況は変わらず、シニアボランティアは再開できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	12	6	2	1	21
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	18	3			21
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	10	7	4		21
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	16	4	1		21

できている点	・訪問看護、福祉用具、配食弁当、見つけてネット等の様々な地域資源を利用している。 ・急な宿泊サービスも、ニーズに合わせ即時に対応できた。 ・訪問先であっても、緊急を要する場合は事務所へ連絡し緊急受診し柔軟に対応した。 ・通いサービスに來れない場合には、その場で訪問サービスに切替え対応している。 ・協力医療機関が当事業所に来て、利用者やスタッフのコロナワクチン接種を行った。 ・短期利用の急な宿泊サービス依頼でも(当日)、居宅支援と連携し即時の対応ができた。 ・訪問看護(医療)が宿泊サービス中でも入り、必要な処置を継続することができた。
--------	---

できていない点	・本人と家族のニーズのずれが大きく、本人望まない宿泊は良くない変化を生むことがあった。 ・悪い変化は目立ち気づきやすいが、良い変化は目立たず気づきにくい。 ・コロナ禍で、ボランティアの地域資源の活用はほとんどない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	意識的に良い面に目を向け、良いことの気づきを増やす。
---------------	----------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	11人	8人	21人

前回の改善計画	地域活動やイベントに、コロナ対策を十分にとって参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染対策の徹底に努めるも、感染リスクを鑑みると行事への参加を断念せざる得なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	19	2			21
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	16	4	1		21
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2	6	13	21
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	7	13	21

できている点	・担当者会議を、ケアマネが自宅へ訪問し開催している。 ・ケアプラザでの会議等には、ケアマネが事業所の代表として参加した。 ・担当者会議には、福祉用具や訪問看護等の必要な事業所が集まり行っている。
--------	---

できていない点	・イベント休止がほとんどで、感染リスクも懸念され行事へは参加できなかった。 ・地域の方々も高齢者施設への訪問は自粛されていて、必要時以外での訪問はない。 ・コロナ禍での地域活動への参加は、ほとんどの利用者が持病もあり実質難しい。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	コロナ状況をみながら、地域活動やイベントへ参加する。
---------------	----------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月5・6・9日(16:00~17:30)

7. 運営

メンバー(氏名) 常勤(大嶋、渡邊、千葉、今泉)4名
非常勤(斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地)14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	11人	2人	人	21人

前回の改善計画	新人への申し送りは簡素化せず、丁寧に解りやすく伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	普段行っている業務であっても、省かず伝えることができた。“丁寧に解りやすく”を心掛けることで、自然とコミュニケーションアップに繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	13	5	2	1	21
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	14	6	1		21
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	14	6		1	21
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		13	6	2	21

できている点	・苦情は真摯に受け止め、即時に誠実に対応するよう心掛けた。 ・運営推進会議を対面で開催できていないが、書面で情報収集し反映するよう取り組んだ。 ・働きやすい職場環境が継続できるよう、利用者や職場に関することを発言するよう努めた。 ・自宅で過ごせるよう、スタッフ同士のコミュニケーションを意識的に多くとった。 ・ケアマネが事業所にいるため直接報告ができ、即座の対応に繋げることができた。
--------	--

できていない点	・コミュニケーションは図れていても、意見を出す人に偏りがある。 ・コロナ禍により対面で会議が開催できないため、活発な意見交換が難しい。 ・報告する環境は整っているが、その先の意見に至る人がもっと多くても良い。 ・コロナ禍以降関わり方が難しくなり、協働した取り組みは現在では厳しい。コロナ終息を願うばかり…
---------	---

次回までの具体的な改善計画	意見を言うよう、各々が意識して業務にあたる。
---------------	------------------------

8. 質を向上するための取組み

メンバー
(氏名)

常 勤(大嶋、渡邊、千葉、今泉)4名
非常勤(斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地)14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	15人	2人	1人	21人

前回の改善計画	コロナ禍の状況をみながら、外部研修へ参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症介護実践者研修に参加した。認知症介護基礎研修はコロナ禍の影響により動画視聴へ変更となったが、初めてその研修に参加しスキルアップが図れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	17	4			21
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	13	8			21
③	地域連絡会に参加していますか	14	3		4	21
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	9	1	1	21

できている点	・オンライン研修が主流となり、時間の縛りがなく参加しやすい環境が整っている。 ・事例からリスクマネジメントを学び、日頃からリスクを予測した上でケアに取り組むよう努めた。 ・事故やヒヤリハットを把握し、同じことが起こらないよう対応策を検討し実践できた。 ・認知症介護基礎研修に参加し、認知症について理解を深めスキルアップが図れた。 ・ケアマネが事業所の代表として、地域連絡会に参加している。
--------	--

できていない点	・平常時は参加していた横浜市小規模多機能連絡会がコロナ禍で休止のため、参加できていない。 ・動画視聴は参加しやすいが、質疑応答がなく疑問が残ることもある。 ・転倒後は行き過ぎた支援になりがちで、リスクと自立支援のバランスが難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	リスクと自立支援のバランスを正しく把握し、リスクマネジメントに取り組む。
---------------	--------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和5年1月5・6・9日（16：00～17：30）
-----	---------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー (氏名)	常 勤（大嶋、渡邊、千葉、今泉）4名 非常勤（斉藤、野村、大野、佐藤、森住、田村、元島、菅原、大坪、小山、石飛、宮下、工藤、菊地）14名
--------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	11人	8人	2人	人	21人

前回の改善計画	個人情報を取り扱う際は、声の大きさ・場所に気をつける。
前回の改善計画に対する取組み結果	全体的に声の大きさ・場所に配慮して行動できた。まれに、気をつけていても自然と声が大きくなり後から気づき反省することもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	19	2			21
②	虐待は行われていない	19	2			21
③	プライバシーが守られている	13	7	1		21
④	必要な方に成年後見制度を活用している	20	1			21
⑤	適正な個人情報の管理ができている	14	7			21

できている点	・虐待について、研修や自己点検を毎年行い、慣れが生じないよう自身のケアを振り返ることをしている。 ・虐待や身体拘束廃止について、意識的に取り組むことを心掛けている。 ・後見人制度を、必要な人へ繋げることができた。 ・何気ない言葉が虐待とならないよう、スピーチロックに気をつけた。
--------	--

できていない点	・利用者への声掛けと同音量で職員同士話してしまい、声が大きく個人情報への配慮が欠け後から気づき反省することがあった。 ・コロナ禍で換気を定期的に行っているため、プライバシーへの配慮に疑問を感じる。 ・虐待防止委員会を立ち上げ、虐待防止を充実させたい (R6.3.31 まで努力義務：虐待防止委員会の立ち上げ、指針の整備)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	虐待防止委員会を立ち上げ、更なる虐待防止に努める。
---------------	---------------------------